

平成30年度文化芸術普及事業  
第16回千葉県芸術文化新人賞  
新人賞サポータープログラム  
国際的に活躍  
新進気鋭アーティストのインスタレーション

# 対話 4000年

Dialogue beyond 4000years

海の記憶  
加曾利貝塚から未来へ交信する

江上越個展

ESU

会期 2018年8月24日(金)～26日(日) **入場無料**

10:00～17:00

※24日(金)は11:00～、26日(日)は15:00まで

会場 千葉市文化センター 市民サロン(5F)

千葉市中央区中央2-5-1

■ ギャラリートーク 26日(日)13:30～

対談 江上越×畑井恵(千葉市美術館学芸員)

平成30年度文化芸術普及事業  
新人賞サポートプログラム  
第16回千葉市芸術文化新人賞  
国際的に活躍  
受賞芸術家のインスタレーション



# 対話 4000年

Dialogue beyond 4000 years

## 江上越個展

会期 2018年8月24日(金)～26日(日)  
10:00～17:00 ※24日(金)は11:00～  
26日(日)は15:00まで  
会場 千葉市文化センター 市民サロン(5F)  
対談 江上越×畑井恵(千葉市美術館学芸員)  
26日(日)13:30～  
主催 (公財)千葉市文化振興財団  
共催 千葉市  
後援 千葉市教育委員会

## 海の記憶 加曽利貝塚から未来へ交信する

4000年前の日本を、わたしは貝塚を通してみる。加曽利貝塚は世界でもっとも大きい貝塚であり、貝たちが縄文時代の人々の遺跡を守り、当時の生活、地球の海進、海退時期を現代に伝えている。一方で貝は古代において仏教の法器である楽器としてインドから東南アジア諸国に伝わったといわれる。

最近、中国の陝西省から骨笛が出土した。4000年前のものらしい。貝塚と骨笛が互いに同時代に存在していたのはどのような意味をもつだろうか。貝と骨笛の音色が4000年後の海を越えて、異なる陸地の文化文明をどのように現在の私たちに伝え、どんなメッセージを未来へ伝えるのだろうか。4000年前と対話し、再考する。



江上越 Egami Etsu

1994年千葉市生まれ /現在北京中央美術学院大学院在籍 /2017年ドイツのHFG  
大学にて交換留学 /第16回千葉市芸術文化新人賞受賞

コミュニケーションの可能性や言葉の起源などに関する作品をつくる。北京、ドイツ、ロンドン、東京にて個展をひらく、国際的に活躍する現代作家。



「This is not a Mishearing game」北京



「In to the light ...」ドイツ

「Dialogue beyond 400 years」ロンドン

お問い合わせ (公財)千葉市文化振興財団 043-221-2411